

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム(2023.6)第20巻:71-

コロナ禍でも学びを止めないハイブリッド型臨地看護学実習
の構築の取り組み
—成人看護学(外来機能・慢性期)—

荒 ひとみ, 松田 奈緒美, 苫米地 真弓, 山口 希美, 阿部 修子

報告

コロナ禍でも学びを止めないハイブリッド型臨地看護学実習の構築の取り組み —成人看護学（外来機能・慢性期）—

荒ひとみ* 松田奈緒美* 苔米地真弓* 山口希美* 阿部修子*

I. はじめに

2019年12月末に原因不明の肺炎の事例が世界保健機構（WHO）に通知され、2020年1月には日本でも新型コロナウイルス陽性者の肺炎患者が確認された。この新型コロナウイルスによる感染症は「COVID-19」と命名され、世界的なパンデミックとなる。3年目を迎えた2022年においても度重なる変異株の出現が確認されていた。

本学は北海道のほぼ中央に位置し、医学科と看護学科の1学部2学科の医学部単科大学であり、道北、道東地域にある唯一の大学病院が併設されている。大学病院では、新型コロナウイルス感染症重症者の受け入れ、入院患者の安全を守る目的や未知なる感染症における対応として、2020年2月26日より臨地看護学実習（以下実習と略す）が全面的に中止となり、大学においては全学年を休校、及び立ち入り規制とする措置が取られた。その結果、本学の看護学生の領域別実習は第3学年の後期（11月）から第4学年の前期（7月）にかけて実施されていたが、実習期間前半での中断となった。

そこで、新学期以降にある第4学年からの実習に関しては、既に実習を終えている学生と同等に実習目的（表1・表2参照）が達成されることを念頭において検討を重ね、学びを止めないCOVID-19versionとして、対面とオンラインのハイブリッド型実習を構築した。ここに、看護学実習Ⅰ（慢性期）と成人看護学実習Ⅲ（外来機能）についての経緯と取り組みの内容について報告する。

表1. 成人看護学実習Ⅰ（慢性期）目的

期間	2週間	目的	1. 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら対象者のセルフマネジメント能力が最大限に発揮されるとともに、QOLが向上するような看護援助を実践する
単位	2単位		2. 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら苦痛の緩和とQOLが向上するような看護援助を実践する
場所	旭医大病院 6西・9西		3. 慢性期・終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割について理解する
			4. 看護実践の体験から、自己の看護観（死生観）を深める

表2. 成人看護学実習Ⅲ（外来機能）目的

期間	2週間	目的	1. 健康障害をもち、外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う
単位	2単位		
場所	旭医大病院 外来部署		2. 医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う

*旭川医科大学看護学科 成人看護学領域

表3. 【旧カリ】令和元・2年度および令和2・3年度成人看護学実習Ⅲ（外来）・成人看護学実習Ⅱ（慢性期）実施状況

時期	年	2019（第3学年）					2020（第4学年）														
	月	11月			12月	1月	2月			3月	4月	5月	6月	7月	8月			9月		10月	
	期間 (日)	11	18	19		20	27	3	17	25	2					17	24	31	21	28	5
		15	22	29		24	31	7	21	29	6					21	28	4	25	2	9
実習クール		1クール目				2クール目			3クール目							4クール目			5クール目		
実習場所		外来	2病棟			外来	2病棟		外来	病棟26日～中止		オンライン授業 (manaba)			外来	2病棟		外来	2病棟		
実習方法		通常の実習				通常の実習			課題実習					COVID-19version 実習							
行動レベル									緊急事態宣言 (道) 2/28-3/19 第1波		①緊急事態宣言 (国) 4/16-5/25第2 波								第3波		
時期	年	2020（第3学年）					2021（第4学年）														
	月	11月			12月	1月	2月			3月	4月	5月			6月	7月	8月	9月	10月		
	期間 (日)	9	16	24		18	25	1	15	22	1		17	24	31	21	28	5			
		13	20	27		22	29	5	19	26	5		21	28	4	25	2	9			
実習クール		1クール目				2クール目			3クール目						4クール目			5クール目			
実習場所		外来	病棟19日～中止			外来	2病棟		外来	2病棟		ハイブリッド	外来	2病棟		外来	2病棟		対面（半数登校）・オンラインハイブリッド授業 (manaba+Zoom)		
実習方法	COVID-19version 実習	オンライン実習					COVID-19version 実習					COVID-19version 実習									
行動レベル		新型コロナ「第3波」警戒宣言 (全国知事会) 市内の2病院でのクラスター発生										まん延防止等措置 (5/9-5/15) ・②緊急事態宣言 (5/16-6/20) 第4波 まん延防止等措置 (6/21-7/11・8/2-9/30) 第5波									

II. コロナ禍の臨地看護学実習

1. 2019年度から2020年度にかけての前半の臨地看護学実習を振り返る（表3）

2019年の成人看護学実習Ⅰと成人看護学実習Ⅲを振り返ると、成人看護学実習Ⅲの外来機能実習（1週間・1単位）と成人看護学実習Ⅰの慢性期病棟（2週間・2単位）計3週間の1クール分の実習は終了しており、冬休みを挟んで2020年1月中旬から2クール目の外来機能実習（主たる実習形態が見学の外来実習、以下外来実習と略す）が開始された。外来実習では、従来通り携帯式の擦式消毒剤を持参し、この時点でマスク着用は義務ではなかったが、自らの意思で不織布マスクを着用する学生もいた。しかし、外来実習は不特定多数の人との接触であることを鑑みて、実習を担当している教員の判断で大学病院内での実習中はマスク着用を促した。このころはまだマスク不足にはなっていないため、実習中は、病院に設置してあるものをその都度臨床指導者等の許可を得て着用していた。翌週の

病棟実習もマスク着用と手指衛生を意識づけ、通常（COVID-19version 以前）の方法で実習を行うことができた。

続く3クール目の実習は、外来実習は2クール目と同様に行ったものの市内においてCOVID-19患者が増加し、病棟実習を1日行った後、（病棟実習1日目は月曜日に当たる）大学病院での実習が他領域を含め一斉に中止となった。中止になった期間の実習代替えの方法は各領域に一任された。成人看護学実習（慢性期病棟）は、この実習目的のもと受け持ち患者の看護過程の展開を軸に実習を行っている。すでに実習1日目は、受け持ち患者と同意書を交わし、情報収集をしていた段階であった。そのため、情報収集した段階での情報を基に、患者の全体像を作成し、看護問題を抽出するところまでを課題として評価した。

次なる教員の課題は、このまま実習が不可能な状態が続いた時にどのような実習の代替策を取るかであったが、まずは、実習を行うために感染対策を

どう講じて入院患者、病院職員、学生の安全が守られるかを検討した。そして、次にオンライン実習に関しては教材の選択と実習で学修する内容をいかにして体験型にできるかを検討した。

2. 2019 年度から 2020 年度にかけての後半の臨地看護学実習を振り返る (表 3)

休校となった 2 月下旬からは、次年度の時間割の修正、遠隔授業の準備、大学内の感染対策など大学は北海道独自の緊急事態宣言中に対策を講じ、4 月中旬からは国からの緊急事態宣言の発令と同時に大学の講義は全てオンライン授業となった。第 4 学年の領域別実習は、通常ならば 5 月の連休明けから開始される予定が 8 月の夏休み明けに変更となった。また、その間、2020 年度から 2021 年度にわたる次年度実習予定の第 3 学年における演習科目は学内への登校禁止となり、全てオンラインであった。

このように第 3 学年の学内での演習はオンラインで行い、一方では、8 月中旬から再開となる第 4 学年の領域別実習についてのシミュレーションする必要があった。最も留意しなければならないことは、渡りの実習であるため 5 クールの学生の実習での学びが不平等にならないことであった。

後半クールの感染対策では 3 密回避の原則と下記 1)～5) を実習体制に組み込むことが必要だった。

1) 大学の危機管理室からの通知を基に「COVID19 対応実習のガイドライン」が作成され、それを基本にして「COVID19 臨地看護学実習のガイドライン」が作成され、感染状況に対応させながら随時修正して使用した。

2) 学生の健康管理は、保健管理センターから実習開始までの 14 日間、毎日自己検疫する(表 7 参照)ことを義務づけられて、実習前 14 日間のその内容は保健管理センターで管理した。保健管理センターから許可された学生が実習に行くことが可能であった。特に緊急事態宣言下や感染拡大地域に滞在し

た学生は、実習開始 14 日前までには旭川に戻ることを推奨し、それが不可能な場合には旭川に戻ってから 14 日間にあたる期間はオンライン実習とした。3) 学内では、学生の控えの教室を 2 か所に増やし、大学内の食堂や売店の使用は可能であったが、病院内のコンビニやイトインコーナーなどの福利施設の使用は禁止となった。また、アルバイトの禁止はせずに、十分な感染対策を講じた上で行うように通達されていた。

4) 看護部からの「COVID19 対応を踏まえた臨地看護学実習について」の文書の内容を厳守した。大学病院は数校の実習を受け入れているためその内容は、他校と同一であった。感染対策として保健管理センターから実習に行くことが可能と判断された学生は、体調チェックシートに記載した内容を毎朝教員に提出し教員が確認を行った。その後学生は師長あるいは担当者に再度体調チェックシートを提出して病院側の確認が取れてから実習を開始した。主たる実習形態は見学、15 分以内の病室滞在を原則とした。衛生材料のビニール手袋などは、コロナ禍以前より看護部から実習学生用に配給されていたため在庫があることを確認した。

5) 実習再開の初日には、医師である第 3 学年担任より、COVID-19 についての講義にて知識の統一を図った。学生支援課より不織布マスク 50 枚入りと携帯用の手指消毒剤が学生に配給された。

(1) 成人看護学実習Ⅲ(外来機能)の変更点(COVID-19 version : 表 6)

外来実習では、看護部から入退院センターでの実習は、3 密が回避できない理由で中止の申し出があった。次に内視鏡室は、エアロゾル発生の可能性が高いのとやはり 3 密が回避できないため中止とした。代替案として、視聴覚教材を用いての教員による講義であった。入退院センターに関しては多職種連携視聴覚教材を用いて、本学の入退院センターの説明を加えた。内視鏡室は、消化管内視鏡の視聴覚教材を用いて行った。

実習可能な部署は、実習時間と学生数を短縮した。

それまで3時間以内で2～3名の学生が一度に実習していたのを一度に同一の場所で実習する学生を1～2名とし、時間は1時間～1時間30分に短縮した（詳細は表5・6参照）。この外来機能実習は通常時から実習の形態が見学実習であったため、実習内容の大きな変更はなかった。しかし、診療科での実習では外来受診患者の病歴聴取後の各種検査（採血やXP撮影、心電図検査等）に同行することを行っていたが、これらは3密回避ができないことを考慮して中止項目とした。また、その日の実習が全て終了した学生はすぐに帰宅することを推奨し、出来るだけ学内にとどまらないように促した。また、このときの外来実習は1名がオンライン実習の対象となり、本大学で導入されている学修支援ツールmanaba（以下manabaと略す）を使用しての初のオンライン実習を行った。実習目標が実習学生となるべく乖離しない内容のシラバスを既に作成していたため、その内容でオンライン実習を行った。当初Zoom配信は予定にはなかったが、実習を行っている学生との間に差異が生じないように実習項目にある臨床の学内特別講師による臨床講義、外来化学療法センターの師長のオリエンテーションと地域医療連携室の講義はZoom配信を行い、オンライン実習を受けている学生も受講できるようにした。また、実習がオンライン実習に切り替わったとしても臨床講義を配信することができるように、外来化学療法センターと地域医療連携室の臨床講義をそれぞれ担当の師長と副師長の同意を得て実習中の講義内容を録音・録画を行い、学内限定のYouTube動画を作成した。

こうして、8月からのCOVID-19 versionの実習を含め2019年末から始まった成人看護学実習Ⅲの実習は終了した。

（2）成人看護学実習Ⅰ（慢性期）の変更点（表8）

密集・密接を避けるために1グループ6名の学生を2チーム、すなわち半数に分散実習とした。学生3名が病棟実習とオンライン実習を隔日で行うハイブリッド型実習となった。

感染対策は外来実習と同じであり、病棟実習の学生は、病院に行く前に教員が、病棟に行くとき師長が体調チェックシートを確認し、実習を開始とした。一方、オンライン実習の学生も病棟実習の学生と同様に指定時間内までに体調チェックシートと当日の行動計画をmanaba上に提出し、出席確認とした。学生のオンライン実習の内容は、受け持ち患者の看護過程を実習日程（表8）に合わせ提出日に提出できるように自己学修することとした。担当教員は病棟に行くため、オンライン実習の学生には昼休みと病棟実習終了後に質問などをmanaba上で対応することを周知した。

オンライン実習の学生は、病棟実習で得た情報や指導をもとに看護計画の立案は可能であった。看護過程における計画は立案するが、実施・評価に関しては、1つでもできることを達成するというスタンスで行った。通常の実習であれば、実習終了後に、ほぼ徹夜で看護過程を考えて翌日病棟実習に行く学生がいたことを考えると、オンライン実習であれば思考を自宅で時間をかけて整理することができるのは、学生にとってはメリットであると思う。しかし、病棟実習では本来の目的以外の貴重な体験や経験をやる機会に恵まれることは少なかったのではないかと考える。

具体的な実習の評価は2020年12月に看護学科と看護部合同FD研修会にてワークショップを予定していたが、感染行動レベルでの集合研修が不可能であったため中止となった。次年度への持ち越し課題となった。

3. 2020年度から2021年度にかけての臨地看護学実習を振り返る（表3）

2020年11月上旬より新しく領域別実習が開始された。しかし、外来実習が終了し慢性期病棟での実習を各チーム1日（実習日は2日目）実施したところで、市内では、中隔病院などの大規模クラスターが発生し、全国知事会における新型コロナ「第3波」警戒宣言とともに実習は2月の上旬で中止とな

った。実習が中止となった学生は病棟で 1 日だけ受け持った患者を症例として看護計画の立案のみを行い、以後 2 クール目の学生は外来実習及び病棟実習は全てオンライン実習となった。残りの 3 と 4 クール目の学生は COVID-19 version のハイブリッド型実習が実施できた。

2021 年度 5 月からの実習では、看護部と看護学科との連携の強化を図り、15 分以内であれば、受け持ち患者のバイタルサインのチェック、コミュニケーション、情報収集、多職種介在のリハビリの見学、生活指導などの直接的な看護援助を行うことができた。15 分以内で終了しない場合には時間を分散して行うなどの工夫を行った。6 月下旬からは任意で学生の新型コロナワクチン接種も開始された。学生は日数や時間が短縮された中での実習の中で従来の目的・目標を達成していた。

4. 新カリキュラム 2021 年度実習に向けて(表 4)

2021 年度 11 月より、新カリキュラム (以後新カリと略す) における実習がスタートした。新カリでの成人看護学実習は第 3 学年後期で成人看護領域の実習は全て終了する。実習としての期間は短縮された反面、一度に実習を行う学生数は増加した。そのため実習場所も慢性期病棟が 2 か所から 3 か所に増えている。実習場所が増え、季節的に感染拡大が予測される時期での実習である。今まで以上に感染対策と実習が行えない可能性を想定する必要があり、既存の完全オンライン実習の内容も更なる改善が必要である。

III. おわりに

コロナ禍の成人看護学実習は、日数と学生数を減らし、半数の対面とオンラインでの実習というハイブリッド式で行ってきた。従来通りの実習目標や目的が達成されるのか疑心暗鬼で試行錯誤の連続であった。しかし、学生は実習課題をクリアし、コロナ禍で家族の面会もない中で快く受け持ちを承諾してくださった患者に真摯に向き合った。また、オンライン実習が隔日にあることによって、思考過程の整理をすることができたので、良かったという言葉が聞かれた。それらの反応から教員の懸念はかなり払拭された。朝澤ら¹⁾が教育機関の取り組み事例を執筆した雑誌の中で、2020 年度母性看護学実習で臨床実習による学生の反応をインタビュー(学生数の記載はない)し、データをカテゴライズした結果「臨地実習できた喜び」「実習指導者への感謝」「実習による学習効果を再認識」「将来の希望の明確化」の 4 カテゴリが抽出され、臨地実習ができたことにプラスの評価と謙虚な気持ちで感謝の念を抱いていたとある。今後はハイブリッド型の実習の評価を学生の学びの内容分析や臨床と教育の側面から分析し、評価することは可能であると考え。そして、感染状況に備え、教員は完全オンライン実習への移行の際も学生の学びを止めることのないように準備を整えることは必要不可欠である。

表4. 【新カリ】2021年度実習成人看護学実習予定概要

年 月	2021						2022					
	11月			12月			1月			2月		
日	8 12	15 19	22 26	29 3	6 10	13 17	17 21	24 28	31 4	7 10	14 18	21 25
場所 (学生数)	外来 (15)	3病棟 (15)		外来 (15)	3病棟 (15)		外来 (15)	3病棟 (15)		外来 (15)	3病棟 (15)	

表7. 体調チェックシート

体調チェックシート									
氏名 () 性別 () 年齢 (才)									
連絡先 (携帯電話:) (メールアドレス)									
2週間以内の都市の移動 (あり・なし) ありの場合: 出入り先の都市名 () 旭川へ戻った日 ()									
移動手段 ()									
2週間以内の集団行動 (あり・なし) ありの場合詳細 ()									
2週間以内の新型コロナ感染者 (PCR陽性者含む) との接触 (あり・なし)									
ありの場合詳細 ()									
体温および症状チェック表									
		記入例	1day	2days	3days	4days	5days	6days	7days
月/日		6/1							
検温	時刻(AM)	6:00							
	体温	36.5℃							
	時刻(PM)	20:00							
	体温	36.9℃							
喉の痛み		あり							
咳・痰		なし							
臭いがしない		なし							
味がしない		なし							
その他		だるさ							
		8days	9days	10days	11days	12days	13days	14days	
月/日									
検温	時刻(AM)								
	体温								
	時刻(PM)								
	体温								
喉の痛み									
咳・痰									
臭いがしない									
味がしない									
その他									

出典：旭川医科大学保健管理センター作成（一部改変）

表 8. 成人看護学実習 I 日程 AG : 3名 BG : 3名

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
学 生	A 初日	B 初日	A	B	A
第 1 週 目	8:40 ゼミ室集合 オリエンテーション 10:30～ 病棟へ 病棟オリエンテー ション 患者紹介 受け持ちの同意を 得る 情報収集など	8:40 ゼミ室集合 オリエンテーショ ン 10:30～ 病棟へ 病棟オリエンテー ション 患者紹介 受け持ちの同意を 得る 情報収集など	8:30 担当教員 室 9:00 病棟実習 13:15 開始挨拶 AG:提出 ①全体像、②看 護問題リスト	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 13:15 開始挨拶 BG:提出 ① 全体像、②看護 問題リスト	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 AG:全体像・看護 問題リスト・初期 計画の提出日
	病棟実習 情報収集 14:30 ミニカンファ レンス 15:00 病棟実習 終了 15:15～ 自己学習	病棟実習 情報収集 14:30 ミニカンファ レンス 15:00 病棟実習終 了 15:15～ 自己学習	病棟実習 14:30 ミニカン ファレンス 15:00 病棟実 習終了 15:15～ 自己学習/個別 指導	病棟実習 14:30 ミニカンファ レンス 15:00 病棟実習終 了 15:15～ 自己学習/個別指導	病棟実習 14:30 ミニカンフ ァレンス 15:00 病棟実習 終了 15:15～ 自己学習/個別指 導

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
学 生	B	A	B	A 最終日	B 最終日
第 2 週 目	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 BG:全体像・看護 問題リスト・初期計 画の提出日	8:30 担当教員 室 9:00 病棟実習	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 10:30～11:15 ★BG学生カンファ レンス ★学生カンファレ ンス資料の提出日 (朝) 朝:師長・臨床指導 者・教員に提出	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 10:30～11:15 ★AG学生カンファ レンス 11:15～11:30 まとめカンファレ ンス 最終挨拶 11:30 病棟実習終了 ★学生カンファレ ンス資料の提出日(朝) 朝:師長・臨床指導 者・教員に提出	8:30 担当教員室 9:00 病棟実習 11:15～11:30 まとめカンファレ ンス 最終挨拶 11:30 病棟実習終 了
	病棟実習 14:30 ミニカンファ レンス 15:00 病棟実習終 了 15:15～ 自己学習/個別指 導	病棟実習 14:30 ミニカン ファレン ス 15:00 病棟実 習終了 15:15～ 自己学習/個別 指導	病棟実習 14:30 ミニカンフ ァレンス 15:00 病棟実習 終了 15:15～ 自己学習/個別指 導	13:00～14:00 教員からの個別フィ ードバック	13:00～14:00 教員からの個別フ ィードバック

IV. 引用・参考文献

- 1) 朝澤恭子、山西文子：コロナ禍における実習施設と大学の協同とアジリティ、看護展望、臨時増刊46 (9)、メヂカルフレンド社、2021
- 2) 安酸史子：臨地看護学実習の代替策を考えるうえで必要なこと、看護展望、45 (13)、11、2020